

At a glance

あすか製薬ホールディングスは、医療用医薬品事業・アニマルヘルス事業・検査事業を展開しています。それぞれのビジネスの推進のみならず、事業間の相互連携によりシナジー効果を発揮することで収益の最大化に取り組んでいます。当社グループの売上高の約9割を占める医療用医薬品事業のなかで、特に注力している女性医療への取り組みをご紹介します。

● 2022年度 売上高
60,461 百万円

医療用医薬品事業の主な対応疾患

内科領域 (消化器領域・甲状腺領域)

- ・肝性脳症
- ・甲状腺機能亢進症
- ・甲状腺機能低下症

泌尿器科領域

- ・前立腺肥大症
- ・前立腺癌

産婦人科領域

- ・子宮筋腫
- ・子宮内膜症
- ・月経困難症
- ・月経異常
- ・避妊
- ・緊急避妊
- ・不妊症
- ・切迫流早産
- ・陣痛促進
- ・更年期障害
- ・鉄欠乏性貧血
- ・性感染症

畜水産領域

- ・繁殖用医薬品
- ・消化器官用医薬品
- ・代謝性用医薬品
- ・抗菌物質
- ・寄生虫用医薬品
- ・飼料添加物
- ・混合飼料
- ・飼料原料

コンパニオンアニマル領域

- ・循環器用医薬品
- ・代謝性用医薬品
- ・寄生虫用医薬品
- ・外用医薬品
- ・健康補助食品
- ・スキンケア

内因性ホルモン微量測定

- ・LC-MS/MSによる独自の高感度測定
(測定条件最適化、分離・精製技術、誘導体化)
- ・多項目一斉ステロイドホルモン測定
- ・超高感度エストロゲン測定

非侵襲的試料を用いた測定(毛髪・爪など)

- ・毛髪ホルモン量測定キット
～DHT～(男性型脱毛症)
- ・毛髪ホルモン量測定キット
～テストステロン～(男性更年期)
- ・毛髪ストレスホルモン量検査キット
～コルチゾール～
- ・爪ストレスホルモン量検査キット
～コルチゾール～

アニマルヘルス事業の主な対応製品

検査事業の主なサービス・対応製品

女性医療に注力するあすか製薬

産婦人科領域

**リーディング
カンパニー**
国内シェアNo.1

2022年度下期に、産婦人科領域での国内売上No.1を達成しました。医薬品のみならず、女性の健康に関する情報発信など多彩な取り組みを推進しています。

※自社推計

▶詳細は P.24

女性医療研究

100 年

1920年の創立当初よりホルモン研究を通じて女性医療に向き合ってきました。時代のニーズに合わせて多種多様な医薬品を創出することで、女性の健康に貢献していきます。

▶詳細は P.6-7

甲状腺領域製品シェア

95%

甲状腺領域に100年携わってきた経験とノウハウを活かして事業を展開しています。品質確保と安定供給に努め、甲状腺領域のリーディングカンパニーとして社会に貢献し続けます。

▶詳細は P.27

研究開発費

42 億円

当社は、内科・産婦人科・泌尿器科の3領域に特化して事業展開する新薬開発型の製薬メーカーです。国内外の企業などと連携し、オープンイノベーションを加速させることで革新的な新薬を提供していきます。

▶詳細は P.40-41

子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 2023年度売上見込

100 億円

成長ドライバーである子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」は2019年の発売から5年目で年間売上高100億円に到達し、中期経営計画の目標を前倒しで達成見込です。

▶詳細は P.27

多様性(ダイバーシティ&インクルージョン)

20.8%

女性管理職候補比率

持続的な成長と企業価値向上のために、多様な価値観を尊重することが重要であると考えています。年齢や属性にとらわれないすべての人材が活躍できる職場環境を目指しています。

▶詳細は P.36